

## 01：育児との両立



今田 敏恵 (市民協働推進部 市民活動推進課)

### <経歴>

平成 15 年 4 月 入庁, 市民税課  
平成 18 年 4 月 児島支所市民課  
(育児休業取得)  
平成 26 年 4 月 市民活動推進課

### ■これまでの業務を振り返って

最初に配属された市民税課では、住民税を賦課する業務を行いました。新採用の自分を、上司や先輩が優しく指導してくれたことが今でも印象に残っています。児島支所市民課では、戸籍の届出から年金関連まで業務が多岐にわたりました。窓口業務はチームワークも重要で、職員一人一人の業務スキルを上げるために、定期的に課内で業務研修や窓口対応研修をするなどして、市民満足度の高い窓口対応を目指しました。現在の市民活動推進課では、市民の方、NPOの方、市役所の関係部署の職員など、いろいろな方と話し合い、情報を共有しながら仕事を進めています。こういったプロセスは、これからの行政職員に求められることだと強く感じています。

### ■育児と仕事に理解のある職場

倉敷市役所は、育児と仕事の両立に理解のある職場風土だと思います。入庁後、子育てをしながら仕事をしている先輩職員の姿を身近で見えていたので、自分自身も自然と子育てと仕事の両立という選択となりました。出産後、育児休業を取得し、職場に復帰した際は、大変なこともありましたが、上司や先輩の助けをいただきながら乗り切ることができました。また、育児に関する休暇や部分休業等の制度を利用できるのは大変助かります。周りには子育て世代で共働きの職員も多く、男女関係なく子育てをしながら仕事ができる環境が整っています。

## ■民間企業での経験が活かせる転職

私は、大学卒業後11年間、建設コンサルタントで、主にトンネルの維持管理に関わる公共事業に携わっていました。民間企業では1つの事業でも計画・設計・積算・施工管理などの担当に分かれていることが多く、経験を積み重ねていく中で、次第に土木構造物の維持管理における事業全体のプロセスに関わることのできる行政職員として働きたいという思いが強くなり、観光や産業などで魅力のある倉敷市の職員を志望しました。

## ■倉敷市職員として働く魅力

道路管理課では、道路、側溝及び道路附属物の維持管理に関する市民の方からのご要望をお聞きして、調査、計画、設計、積算、施工監理等を行う業務、及び既設トンネルの調査、補修設計業務を担当しています。幅広い知識が必要となり大変ですが、その分やりがいも大きいです。倉敷市役所での仕事は、上下水道や道路、公園などのインフラや、防災に関わる事業など活躍の場が非常に幅広いです。民間企業のように利益を求めて事業を行うのではなく、市民の皆様の日常生活が少しでも便利になるように考え、また、どうすれば災害や事故のリスクを低減できるかを考えてまちづくりに取り組みます。「まちを創る」「まちを守る」という大きなやりがい・達成感を得られることが、自治体の職員として働く魅力です。

## 02：民間企業からの転職



末廣 哲平 (土木部 道路管理課)

### <経歴>

平成 24 年 4 月 入庁, 児島支所建設課  
平成 26 年 4 月 国土交通省へ出向  
平成 28 年 4 月 道路管理課

## 03：自らの資格を活かす



萩原 卓 (総務局 防災危機管理室)

### <経歴>

平成 20 年 4 月 入庁, 玉島支所産業課  
平成 23 年 4 月 介護保険課  
平成 27 年 4 月 防災危機管理室

### ■災害に強いまちを目指して

現在、防災危機管理室では、地域住民でつくる自主防災組織との協働による防災啓発活動や、倉敷市地域防災計画を軸に、倉敷市の様々な部署や防災関係機関と連携し、災害対策の立案や防災訓練の実施などに重点を置いて取り組んでいます。台風や大雨等による気象警報発令等の緊急時には、夜間・休日であっても、すぐに職場に行き、被害状況等の情報収集や災害対策本部立ち上げ、市民に対する避難情報発令の検討等を行います。防災の仕事は、市民の皆様の命や財産を守る仕事であり、非常に大きな責任が伴う大変な仕事ですが、その分やりがいもあり、自分の知識や経験が、迅速で的確な災害対応につながり、被害を最小限に抑えることができた時は、安堵感とともに大きな達成感を得ることができます。

### ■自らのスキルを活かすことのできる職場

私は、気象予報士の資格を、以前の職場で取得しており、次の人事異動でその資格を活かせる現在の部署に異動しました。風水害のおそれがある際は、気象庁に気象情報を確認し、災害対策本部で今後の見通しを解説するなど、業務の中で資格を活かした実感できることが多くあります。倉敷市には多くの部署があり、様々な業務を経験することで、将来的になりたい職員のビジョンを必ず見つけることができると思います。そして、本人の意欲・能力に応じた、キャリアデザイン的设计を応援してくれる人事制度が充実しているので、その目標に向かって努力すれば、きっと実現することができると思います。